

令和2年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

○年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			H30	R1	R2		
群馬県	上野村	上野村	●	●	■	A	事業最終年度である本年度は、コロナ禍の中、イベント開催ができないなど木工業者にとっても非常に厳しいものであったと思うが、昨年度に立ち上げたチームで新たに杉材を活用した木工品の開発や板材の販売、施設改修などチーム一丸となって事業によく取り組んでいたと思う。また、林業木工業者を新たに雇用できたことは今後の上野村にとって非常に価値のあることだと思う。事業が終了してもここからスタートだと思って引き続き村の木工業発展に取り組んでいきたい。

(注1)「事業実施段階」の凡例： ○●交付対象年度(計画) ●●交付対象年度(実施済) □●目標年度(計画) ■●目標年度(実施済)

(注2)「評価」の区分： A●優良 B●良好 C●低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である○○○氏から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

【意見聴取の概要】

事業最終年度である本年度は、コロナ禍の中、イベント開催ができないなど木工業者にとっても非常に厳しいものであったと思うが、昨年度に立ち上げたチームで杉材という手に入りやすいが柔らかく木工品には扱いづらいものを活用した木工品の開発や今まで在庫として保管していた板材の販売、木工業者の合作による施設改修などチーム一丸となって事業によく取り組んでいたと思う。また、林業木工業者を新たに雇用・確保できたことは地域の担い手不足など今後の上野村にとって非常に価値のあることだと思う。事業が終了してもここからスタートだと思って引き続き村の木工業発展に取り組み、人口対策や地域経済の発展にも貢献してもらいたい。